

2013 年 5 月 14 日

BMW グループ、成功に満ちた未来に向け進路を定める

▶ **新たな技術と市場への投資を継続、BMW グループは 2013 年の年間目標を再確認。**

ミュンヘン発：

BMW グループは、新技術とニュー・モデル開発への多額の支出および生産ネットワークへの投資を通じて、将来のさらなる成功への道を切り拓いている。「当社はこのように成長の次なる段階に向けた準備を進め、将来に備えて BMW グループの競争力を高めています。明日のモビリティを形作りたいと望むのであれば、必要な投資を今日実施しなければなりません」と BMW AG 取締役会長ノルベルト・ライトホーファーは火曜日、ミュンヘンで開催された年次株主総会において述べた。

BMW グループは既存および新規の事業拠点に引き続き投資する。例えば、ブラジルで計画されている新工場では年間最大 3 万台を生産する。生産開始は 2014 年を予定しており、ブラジルへの投資額は今後数年間で 2 億ユーロ以上を見込んでいる。BMW グループの生産ネットワークは昨年時点で 14 カ国、計 29 拠点から構成されていた。

新技術と新しい車両コンセプトの開発費用は 2013 年も引き続き増額し、2013 年だけで 11 のニュー・モデルの導入が予定されている。2014 年末までの 2 年間ではおよそ 25 のニュー・モデルが製品ラインナップに加わり、このうち 10 モデルはまったくのニューフェースとなる。

グローバルなセールス展開を視野に、単一の市場あるいは地域への過度の依存を避ける戦略を継続する。「当社は欧州、アメリカおよびアジアという世界の 3 主要地域の間でバランスのとれたセールスを維持することを目指します」とライトホーファーは強調した。昨年は米国が総販売台数の 18.9%を占め、中国は 17.7%、ドイツは 15.6%であった。

2013 年は BMW グループの e モビリティに脚光

BMW グループにとって 2013 年は、エレクトロ・モビリティが脚光を浴びることになる。市街地でのゼロエミッション走行に向けて設計され、今年末に市場に投入される BMW i3 は、プレミアム・セグメントをリードするイノベーターとしての BMW グループの役割を改めて示すものといえる。

「今年後半、当社は自動車産業に革命を起こします。BMW i は明日のモビリティを具現化します。リスクを冒すことを躊躇しないものだけが、未来の栄光を手にすることができるのです。新たなアプローチへのニーズを無視することはできません。環境が変化している時はなおさらです」とライトホーファーは年次株主総会で語った。「顧客は魅力的な選択肢を待ち望んで

います。当社はその選択肢を提供することができます」とライトホーファーは付け加えた。

パッセンジャー・コンパートメントに炭素繊維強化樹脂(CFRP)、シャシーにアルミを採用し、軽量構造の面で新たなベンチマークを確立する BMW i3 は、従来の電気自動車と比べた場合の重量差が 250～350 kg に達する。

BMW グループは 2013 年の年間目標を再確認

過去最高の業績となった 2012 年が終わり、経済環境は困難かつ不安定な状態から抜け出せずにいるが、そうした中で BMW グループは意欲的な年間目標を再確認した。「当社は今期、グループ・レベルで販売台数の記録更新と、2012 年度並みの税引き前利益の達成を目指します」とライトホーファーは確認した。

追加コストが発生したにもかかわらず、自動車部門は今期に 8～10%の金利払前税引前利益(EBIT)率を維持できる見通しとなっている。この EBIT 利益率の範囲は 2013 年以降の期間についても持続できると予想されるが、政治的・経済的な情勢によっては、実際の利益率目標を上方および下方修正する可能性もある。

モーターサイクル部門は、さらなる販売台数の増加を予測している。その原動力となる魅力的なニュー・モデルの中でも、R 1200 GS は部門の売上高と利益の増加に貢献すると期待されている。

ファイナンシャル・サービス部門も好調を維持する見通しで、自己資本利益率は少なくとも 18%に達すると見込んでいる。

なお、以上に掲げた今期の予想数字は、世界の経済的・政治的な情勢が大きく変わらないという前提に基づいている。

2013 年第 1 四半期は順調な滑り出し

BMW グループは新年度に順調な滑り出しを見せた。2013 年第 1 四半期のグループ売上高は 175 億 4,600 万ユーロ(前年同期:182 億 9,300 万ユーロ、-4.1%)となった。新技術への投資拡大や人件費の高騰、世界的に厳しい市場環境にもかかわらず、第 1 四半期の金利払前税引前利益(EBIT)は 20 億 3,900 万ユーロ(前年同期:21 億 3,400 万ユーロ、-4.5%)にのぼり、グループの第 1 四半期の業績としては過去 2 番目のレベルに達した。EBIT 利益率は 11.6%であった。

1～3 月の税引前利益(EBT)は 20 億 300 万ユーロ(前年同期:20 億 8,000 万ユーロ、-3.7%)となった。グループの純利益は 13 億 1,200 万ユーロ(前年同期:13 億 5,200 万ユーロ、-3.0%)であった。BMW、MINI、ロールス・ロイスの 3 ブランドを合わせた 2013 年第 1 四半期の納車台数は、全世界で前年比 5.3%増の 44 万 8,200 台(前年同期:42 万 5,528

台)に達した。

2012 年は史上最高の年

2012 年に BMW グループは売上高、販売台数、通期利益がいずれも過去最高を記録し、創業以来の歴史の中で最も成功を収めた年となった。

売上高は前年比 11.7%増加し、過去最高の 768 億 4,800 万ユーロ(2011 年:688 億 2,100 万ユーロ)にのぼった。新技術への投資拡大や人件費の増加にもかかわらず、利益も記録的な水準に上昇し、金利払前税引前利益(EBIT)は前年比 3.5%増の 83 億ユーロ(2011 年:80 億 1,800 万ユーロ)、税引前利益(EBT)が 5.9%増の 78 億 1,900 万ユーロ(2011 年:73 億 8,300 万ユーロ)、グループの純利益も 4.4%増えて 51 億 2,200 万ユーロ(2011 年:49 億 700 万ユーロ)にのぼった。

BMW、MINI、ロールス・ロイスの 3 ブランドを合わせた 2012 年の納車台数は、全世界で前年比 10.6%増の 184 万 5,186 台(2011 年:166 万 8,982 台)に達し、BMW グループはプレミアム・カー市場のグローバル・リーダーとしての座を守った。

資本支出は 41.9%増と著しく増加し、2011 年の 36 億 9,200 万ユーロに対し、2012 年は 52 億 4,000 万ユーロにのぼった。この大幅増は、数多くのニュー・モデルの導入と各地の拠点の生産能力増強、そしてとりわけ BMW i の導入準備に多額の資金を要したためである。また、これにより資本支出率も 6.8%に上昇した(2011 年:5.4%)。研究開発支出は前年比 17.2%増の 39 億 5,200 万ユーロ(2011 年:33 億 7,300 万ユーロ)で、そのほとんどがグループの将来のためのプロジェクトに投じられた。なお、研究開発支出率は 5.1%に上昇している(2011 年:4.9%)。

普通株配当金を 2.50 ユーロに増額

BMW AG 取締役会と監査役会は、2013 年 5 月 14 日に開催する株主総会で増配を提案することにしており、1 株あたりの配当金は、普通株が過去最高の 2.50 ユーロ(2011 年:2.30 ユーロ)、優先株が 2.52 ユーロ(2011 年:2.32 ユーロ)となる。この数字を基礎に計算すると、配当金支払い総額は 16 億 4,000 万ユーロ(2011 年:15 億 800 万ユーロ)で、配当性向は 32.0%(2011 年:30.7%)となる。

従業員も企業の成功を分かち合うことになり、ドイツの自動車および工業セクターで最も高い水準の利益連動型賞与が支給される。

自動車部門:EBIT が 76 億 2,000 万ユーロに増加

2012 年は、BMW、MINI、ロールス・ロイスの 3 ブランドが揃ってこれまでの販売台数記録を塗り替えた。

こうした販売台数の急速な伸びを追い風に、自動車部門の売上高は前年比 11.0%増の 702 億 800 万ユーロ(2011 年:632 億 2,900 万ユーロ)に達した。同部門の EBIT も前年比 2.0%増の 76 億 2,400 万ユーロ(2011 年:74 億 7,700 万ユーロ)で、EBIT 利益率は 10.9%となった。また、税引前利益は前年比 5.5%増の 71 億 9,500 万ユーロ(2011 年:68 億 2,300 万ユーロ)となっている。

自動車部門のフリー・キャッシュ・フローは合計 38 億 900 万ユーロで、前年に比べて 6 億 4,300 万ユーロ改善し、目標としていた 30 億ユーロ強を上回った。

BMW ブランド乗用車の販売は、前年比 11.6%増の 154 万 85 台(2011 年:138 万 384 台)となり、単年度で初めて 150 万台の大台を突破した。MINI ブランドも初めて 30 万台を越え、2012 年の販売台数は前年比 5.8%増の 30 万 1,526 台(2011 年:28 万 5,060 台)に達した。ロールス・ロイスは 2012 年も超高級車セグメントのマーケット・リーダーとしての貫録を示した。2012 年の合計販売台数は 3,575 台(2011 年:3,538 台)で、これは前年比 1.0%の増加に当たる。

モーターサイクル部門も販売記録を更新

昨年は世界で 11 万 7,109 台の BMW およびハスクバーナ・ブランドのモーターサイクルが販売された(2011 年:11 万 3,572 台)。これは前年比 3.1%の増加で、同部門にとって過去最高の販売成績となる。

BMW ブランドのモーターサイクル販売は前年比 2.0%増の 10 万 6,358 台(2011 年:10 万 4,286 台)となり、ハスクバーナは前年比 15.8%増の 1 万 751 台のモーターサイクルが顧客に納車された(2011 年:9,286 台)。将来的には、モーターサイクル部門は BMW ブランドのみに集中する予定である。BMW グループは 2013 年 1 月末にオーストリアの Pierer Industrie AG とハスクバーナの売却契約を交わしている。

モーターサイクル部門の売上高は前年比 3.8%増の 14 億 9,000 万ユーロ(2011 年:14 億 3,600 万ユーロ)にのぼった。EBIT は 900 万ユーロ(2011 年:4,500 万ユーロ)と、前年比で 80.0%減少したが、これは BMW グループがモーターサイクル事業の再編方針を定めたことに起因する。これに伴い、税引前利益も 600 万ユーロ(2011 年:4,100 万ユーロ)と、前年比で 85.4%減少している。

堅調なファイナンシャル・サービス部門

ファイナンシャル・サービス部門は昨年も引き続き好調を維持した。売上高は前年比 11.7%増の 195 億 5,000 万ユーロ(2011 年:175 億 1,000 万ユーロ)にのぼった。税引前利益は 15 億 6,100 万ユーロ(2011 年:17 億 9,000 万ユーロ)となった。前年比 12.8%の減益に終わったのは、前年の数字が特殊な要因によって押し上げられ、その反動が現れたことによる。2011 年に同部門は、残価リスクおよび貸倒リスクの引当金が減少したことによる 4 億

3,900万ユーロの特別利益を計上していた。2012年の利益の数字には、リース車両の契約終了に伴う1億2,400万ユーロの特別利益が含まれている。

新規のリース／ファイナンス契約件数は世界全体で134万1,296件と、前年比で12.1%増加した。また、ディーラーおよび小売顧客とのリース／ファイナンス契約件数は昨年末時点で384万6,364件と、1年前に比べて7.1%増加している。

従業員数は5.6%増加

BMWグループの従業員は2012年に5.6%増加し、12月31日時点で世界全体で10万5,876人(2011年:10万306人)となった。BMWグループは、グループの乗用車に対する旺盛な需要に応え、技術革新を推進し、新技術を開発するために力となるエンジニアと熟練工を求めている。

新しいトレーニング・イヤーを迎え、1,376人の若者(うち1,200人はドイツ国内)がBMWグループで職業訓練をスタートさせた。その関係でドイツ国内の研修生の数は10%以上増加している。なお、2012年末時点のBMWグループの研修生の数は世界全体で4,266人にのぼる。

		2012 年	2011 年*	増減率（％）
販売台数				
自動車		1,845,186	1,668,982	10.6
内訳:				
BMW	台	1,540,085	1,380,384	11.6
MINI	台	301,526	285,060	5.8
ロールス・ロイス	台	3,575	3,538	1.0
モーターサイクル	台	117,109	113,572	3.1
BMW	台	106,358	104,286	2.0
Husqvarna	台	10,751	9,286	15.8
従業員数¹		105,876	100,306	5.6
売上高	百万ユーロ	76,848	68,821	11.7
内訳:				
自動車	百万ユーロ	70,208	63,229	11.0
モーターサイクル	百万ユーロ	1,490	1,436	3.8
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	19,550	17,510	11.7
調整科目	百万ユーロ	5	5	-
控除額	百万ユーロ	-14,405	-13,359	-
資本支出	百万ユーロ	5,240	3,692	41.9
営業活動によるキャッシュフロー	百万ユーロ	9,167	8,110	13.0
金利払前税引前利益(EBIT)	百万ユーロ	8,300	8,018	3.5
内訳:				
自動車	百万ユーロ	7,624	7,477	2.0
モーターサイクル	百万ユーロ	9	45	-80.0
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	1,558	1,763	-11.6
調整科目	百万ユーロ	58	-19	-
控除額	百万ユーロ	-949	-1,248	--
税引前利益	百万ユーロ	7,819	7,383	5.9
内訳:				
自動車	百万ユーロ	7,195	6,823	5.5
モーターサイクル	百万ユーロ	6	41	-85.4
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	1,561	1,790	-12.8
調整科目	百万ユーロ	-6	-168	-
控除額	百万ユーロ	-937	-1,103	-
所得税	百万ユーロ	-2,697	-2,476	8.9
純利益	百万ユーロ	5,122	4,907	4.4
1株当たり利益²	ユーロ	7.77/7.79	7.45/7.47	4.3
普通株/優先株 1株当たりの配当	ユーロ	2.50/2.52	2.30/2.32	-

*2011 年の数値は部分的に調整済み

*2011 年の利益には、自動車部門およびファイナンシャル・サービス部門の特別利益 5 億 2,400 万ユーロが含まれる。ファイナンシャル・サービス部門の特別利益は残価リスクおよび貸倒リスクの引当金の減額によるもの。ファイナンシャル・サービス部門は 2012 年、リース車両の契約終了に伴い 1 億 2,400 万ユーロの特別利益を計上した

¹ 休止中の雇用契約、退職前のパートタイム配置の労働・非労働段階の従業員、および低賃金労働者を除く

² 普通株/優先株 1 株当たりの利益